

レが

第357号

公民館報

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

四賀の世帯数・人口

世帯数	1,825	世帯
人口	3,819	人
男	1,846	人
女	1,973	人

(令和7年3月1日現在)

未来へつなぐ 私たちのまちづくりの集い

山岸勝子さんがパネリスト

2月16日
(日)、第40
回松本市公
民館研究集
会、令和6
年度松本市
地域づくり



市民活動研究集会在が、Mウイ
ングで開催されました。

午前中はパネルディスカッ
ションが開催され、山岸勝子
さんが、元社会福祉協議会四
賀地区センター課長という立
場で、井刈で毎週月曜日に運
営している交流サロン「ふく
ふく亭エル」が出来るまでの
経緯を発表されました。

エルでは喫茶を楽しみなが
ら、趣味の発表や困りごと相
談などを行い、人とつながる
場所づくり、住み慣れた地域
で頑張つて暮らしていきたい
と思う場所づくりをしている
そうです。

午後は6分科会に分かれ
て、地域防災、子ども・若者、
共生社会、高齢者、地域資源、
町会をテーマに話し合いま
した。

「五郎山」ハイキング

2月17日(月)、伊那市高遠
の五郎山(標高960m)へハ
イキングにでかけてきました。

武田信玄の五男で武田勝頼
の異母兄弟である仁科五郎盛
信は、織田軍との戦いの中、
3千の兵で5万の軍勢と壮絶
に戦い自刃し、遺体は地元の
農民たちにより、山頂で火葬
され、以来この山は五郎山と
呼ばれるようになったそうで
す。(信濃の国の5番に出て
くる人物)

約6kmのコースを90分ほど
かけて歩きました。山頂には
立派な盛信の石造と祠があ
り、地元の人たちに愛されて
いるんだと感じました。

お昼は南箕輪村の「大芝の
湯」に行き、昼食・お風呂と
ゆっくり過ごしてきました。



星空観察会



2月22日(土) 夜に向かい、
一層凍てついた空気のなか、信
州グリーンローズスタジアム四
賀にて「冬の星座とオリオン大
星雲」観察会が行われました。
10名ほどの参加者の皆さんは
完全防寒で降り注いでくるの
ではないかと思わせる星空に夢中
になっていました。

四賀バラ公園 バラ冬剪定講座

2月9日(日) 2月に入っ
て寒さの厳しい日が続き朝は
氷点下8度付近まで気温が下
がりましたが、好天に恵まれ
て日差しの暖かさを感じなが
らバラの剪定講座と冬剪定作
業が行われました。

中野市の「荒井バラ園」の
荒井健悟さんを講師に迎え、
実践的にバラの剪定を学びな
がら、季節ごとの剪定である
冬剪定をしました。

荒井先生の説明はとてもわ
かりやすく、実際のバラを一
緒にどれをどう切るかをレク

チャーしながら剪定をしてく
ださったので四賀地区内外か
ら集まった十数名の参加者の
皆さんは、熱心に耳を傾け作
業をしていました。バラの季
節が楽しみです！





ウォーキングサッカー 体験会



文字通り走らず歩いて行うサッカー。キックもゴロを基本にするなど体力がなくても楽しめるルールです。

2月12日(水)にピナスホールで行われた体験会には地区の児童やシニアなど20数名が参加してゲームを楽しみました。外の寒さまでこへやり点が入ると大きな歓声が上がリ、皆汗ばむほど夢中になっていました。



ペタンク 交流会・体験会



松本ペタンク連盟と地区民が一緒に楽しむ体験会。毎月開催されており、1月13日(月)の回には四賀屋内ゲートボール場に18名が集まりゲームを楽しみました。

ペタンクは「最後の一投で勝負が決まる。運まかせの面もある」のが魅力とか。この日も経験30年のベテランと初心者が入り混じって熱戦を繰り広げ交流を深めていました。



画面に合わせて

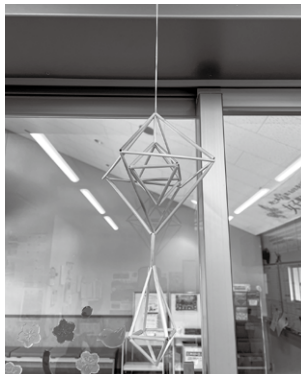
ドンドン

ビデオゲームなどをスポーツとして楽しむeスポーツ。その面白さをシニア世代にも知ってもらおうと、1月30日(木)、2月4日(火)と12日(水)にピナスホールで体験会を開催。のべ21名が参加して「太鼓の達人」に挑戦しました。初めての人もコツを掴むとすぐに上達し、高得点を狙って集中していました。

フィンメリ講座

2月22日(土)信州グリーンローズスタジアム四賀主催・四賀公民館共催の講座「ライ麦藁で作るフィンメリ講座」が行われました。

フィンランドの伝統的な立方体のオブジェである「ひんめり」を作りました。講師は、藁細工作家の「水垣カエル雪絵」さん。カエル先生の、ふんわりと優しい雰囲気です。皆さん笑顔で藁のパーツを切りそろえ、一本一本に糸を通し結びながら、はじめの平面の状態が立方体になった瞬間に歓声をあげていました。四賀地区内外から十数名の参加者の皆さんが参加しました。小学生のお子さんも素晴らしい作品を作っていました。



「ひんめり」の語源は天を表す「ヒンメル」という言葉だそうです。正八面体は風のエレメントも表すそうです。

湧き水

▼「よこかわ桃源郷プロジェクト」という活動で国道法面の整備を5年計画でやってきた。今年は初めに植えたハナモモが少し成長した姿を見せてくれると期待しています。青木峠バイパスの開通までに「新たな松本の東の玄関口」の景観を作るのが目標です。▼さて、この活動で感じるのは共同作業の絶大なパワーです。一般的な分類では高齢者に属するメンバーですが、その総合力は「二人の能力」×「人数」×「何か」であって、感覚的にはその「何か」で数倍になる実感があります。何が作用するのかはよく分かりませんが。▼昭和の後半に農村でも機械化が進んで、それ以前のようには助け合えないと成立しない農業から解放されました。近年は農業従事者の減少と高齢化に対応してITやAIの導入による省力化も進んでいます。▼一方で農業に対する補助金や助成の仕組みは共同作業を前提にしているものが多く、面倒に感じてました。でも実はこれ、とても大切なことなのかも、と考えを改めているところです。